

令和4年度中長期経営プラン2016の進行管理結果について

山武水道では、中長期的な視点に立った計画として、平成28年3月に「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016」を策定し、基本理念として掲げた「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」の実現を目指しているところです。

これまで、事業の進捗に伴い、配水管の耐震化計画などの見直しを実施してきたところですが、令和4年度に過去6年間（平成28年度～令和3年度）の事業の評価を行い課題を整理・分析し、令和7年度までの計画を見直しましたので、令和5年度は、この見直しに基づいて令和4年度に実施した事業の評価を行いました。

今後も、必要な改善を行い中長期経営プランの着実な推進に取り組んでまいります。

1 中長期経営プラン2016について

中長期経営プランは、企業団の水道事業全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画として、第3章「現状と課題」を踏まえ、第4章「基本理念と目標」において、「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」を事業運営の基本理念として掲げ、この基本理念を実現するための事業展開の方向性を「水道水の安全の確保【安全】」「確実な給水の確保【強靱】」「供給体制の持続性の確保【持続】」という3つの計画目標として具体的に設定しています。

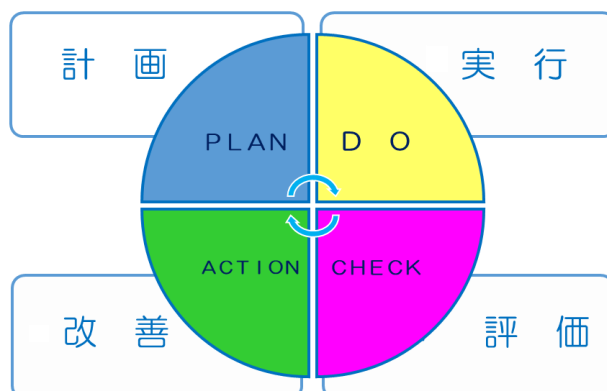
この3つの計画目標を達成するため、第5章「今後の10年間の取組姿勢」において、平成28年度から令和7年度までの10年間で重点的に取り組む施策・取組内容を体系的に整理しました。（別添「計画の体系及び評価結果」参照）

また、体系化とともに、「施策等の指標」「年次計画（活動目標）」により数値目標を設定し、目指すべき目標を明確にしています。

2 進行管理の方法

中長期経営プランは、PDCAマネジメントサイクルにより進行管理を行います。

評価により明らかになった成果と課題を中長期経営プランの着実な推進に活用します。

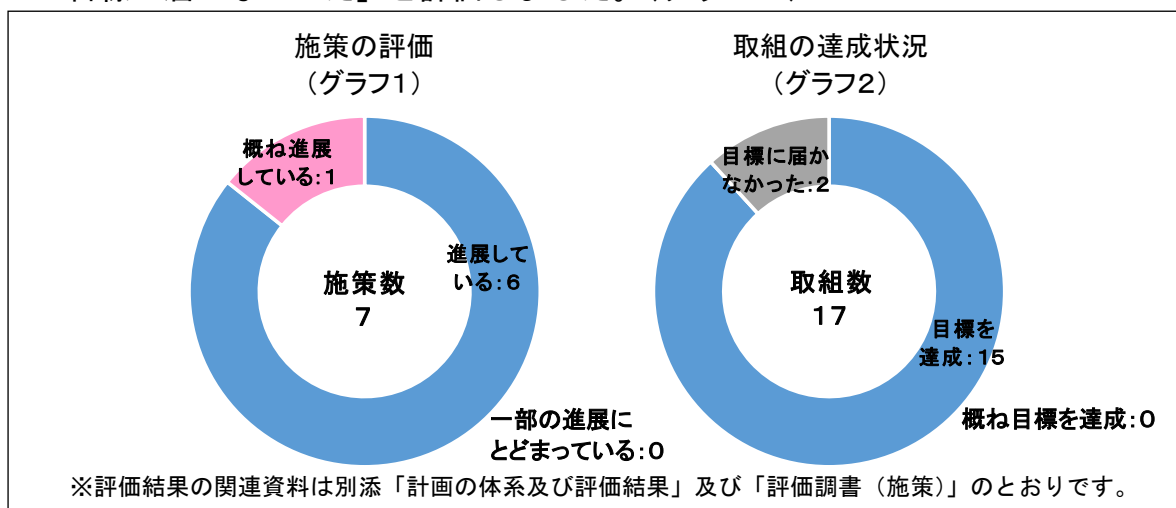


3 令和4年度に実施した施策の評価

中長期経営プランに掲げた3つの計画目標を達成するための各施策について、主な取組の実施状況により「進展している」「概ね進展している」「一部の進展にとどまっている」の3つの区分に整理し、その進捗状況を評価しました。

○計画目標に掲げた7つの施策について、「進展している」又は「概ね進展している」と評価しました。(グラフ1)

○施策を達成する具体的な手段である17の取組について、「目標を達成」、「目標に届かなかった」と評価しました。(グラフ2)

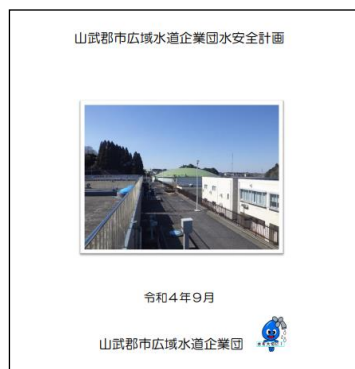


4 令和4年度の実施状況

計画目標1 水道水の安全の確保【安全】

【水質管理の強化】

- ①水質検査計画に基づき、配水場からご家庭の蛇口に至るまでの水道水を定期的に検査したところ、水質基準を全て満たしておりました。
- ②水安全計画に基づき、危害発生の予防に努めるなど徹底した水質管理を実施することで安全な水道水を供給することができました。
- ③東金配水場に設置予定(令和6年度)の監視カメラについて、設置位置等の検討を行いました。
- ④貯水槽の所有者に対して、貯水槽水道の適正管理についてホームページや広報紙で周知を行いました。



②水安全計画



④広報山武水道 令和5年3月号
(貯水槽水道の適正管理について)

計画目標 2 確実な給水の確保【強靱】

【水道施設の計画的更新と維持管理】

- ⑤東金配水場については、令和4年度から6年度までの継続工事で場内連絡管及び電気設備の更新を行っています。
- ⑥基幹管路耐震化事業については、約3.0km 施工し、現在までに約16.8kmの配水管を耐震化しました。
- ⑦重要給水施設配水管耐震化事業については、約2.8km 施工し、現在までに対象重要給水施設17箇所、約9.8kmの配水管を耐震化しました。
- ⑧職員による配水管の定期的な管路パトロール、排水栓及び水管橋の点検を実施するとともに、専門業者により配水管電食調査を実施しました。そのうち、排水栓1箇所の漏水を修理し、また外面塗装が劣化している水管橋については、優先度の高い5箇所の塗替えを行いました。



⑤東金配水場4号配水池
内面補修塗装工事の様子

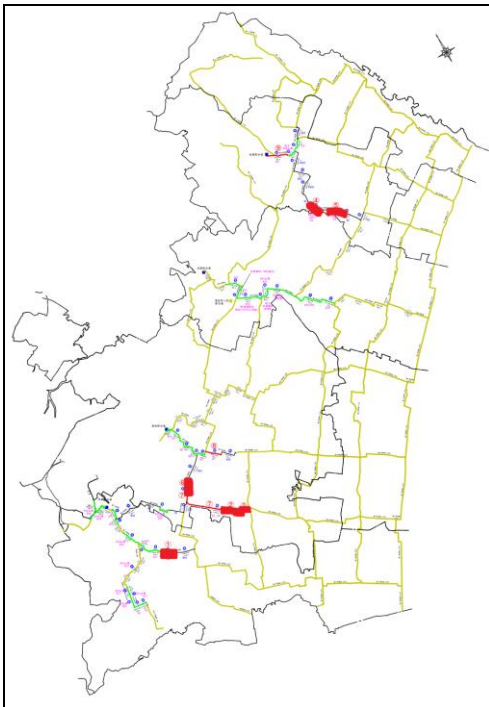


⑥基幹管路耐震化工事の様子



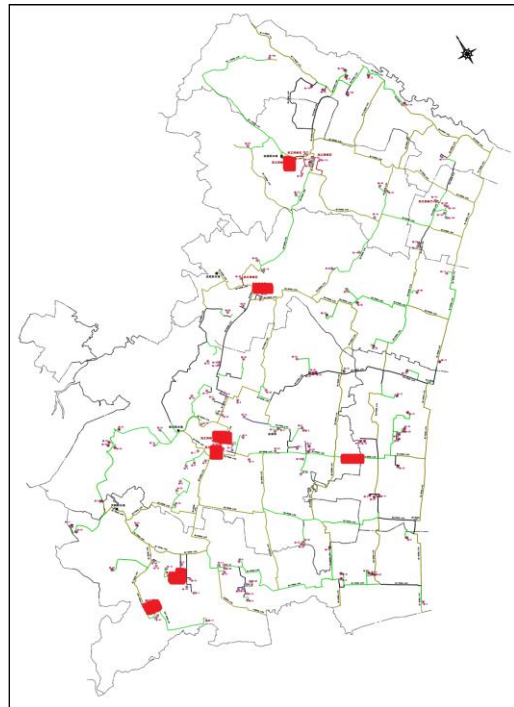
⑧排水栓点検調査

基幹管路図



⑥基幹管路耐震化事業（約3km施工）
（交付対象事業：補助額約1億6千万円）

重要給水施設配水管路図



⑦重要給水施設配水管耐震化事業（約2.8km施工）
（交付対象事業：補助額約1億4千万円）

【総合的な危機管理】

- ⑨総合的な災害対策訓練として資器材搬出訓練や応急給水訓練等を実施しました。
- ⑩水道水の滅菌消毒に必要な水道用次亜塩素酸ナトリウムについては、注入量と補給量の調整を行い、適正な管理を行いました。
- ⑪配水場の非常用自家発電設備については、設備の点検を適切に実施するとともに、長時間の停電に備え、燃料を適量確保しました。
- ⑫災害時の重要拠点となる事務局庁舎に、72時間稼働できる非常用自家発電設備の導入を計画的に進めることとしました。



⑨災害対策訓練（資器材の搬出）



⑩次亜塩素酸ナトリウム注入室



⑪非常用自家発電設備
(全ての配水場で72時間稼働可能)

計画目標3 供給体制の持続性の確保【持続】

【お客様サービスの充実】

- ⑬スマートフォン決済の導入に向けて料金徴収システム構築及び収納業務委託の準備を進めました。
- ⑭水道事業全般に関する最新情報を提供するため、ホームページや広報紙を活用した情報発信を行いました。
- ⑮マスコットキャラクター「さんすいちゃん」が令和4年6月に商標登録されました。
- ⑯参加型広報活動として、小学4年生を対象に水道出前講座を実施しました。



⑬スマートフォン決済



⑭企業団ホームページ



⑮さんすいちゃん



⑯水道出前講座の様子

【経営の健全化及び効率化】

- ⑰九十九里地域末端給水事業体は、県の取組方針に沿って統合・広域化の方向性や考え方を「基本方針」に取りまとめ、関係13市町村と協議・調整しながら検討を進めています。
- ⑱受益者及び知識経験を有する者からなる水道事業運営委員会において、企業団の運営方針を取りまとめた中長期経営プランの進捗状況や見直し内容を審議して頂き、事業運営に対する意見や助言を頂きました。



⑰市町村等調整会議の様子
(県内水道の統合広域化の進め方に
係る九十九里地域水道事業体会議)

【活力ある人材・組織づくり】

- ⑲職員を各種研修に参加させ、水道事業に必要な専門的知識の習得や公務員としての資質の向上を図りました。

【環境に配慮した事業運営の推進】

- ⑳東金配水場場内連絡管更新に伴う電気設備工事において、令和5年度の配水ポンプ用モータの高効率化に向け準備工を行いました。
- ㉑全ての発注工事において浅層埋設工法を適用しCO₂排出量を削減しました。
- ㉒老朽化した事務局庁舎の電気設備を更新し、省エネ性能の高いLED照明を導入しました。



⑳東金配水場配水ポンプ設備準備工



㉒事務局庁舎のLED照明

5 進行管理に関する評価

中長期経営プランの施策を推進するために企業団内に「中長期経営プラン推進委員会」を設置し、進行管理に関する内部評価を実施しています。

また、内部評価の客観性を確保するため「山武郡市広域水道企業団水道事業運営委員会（受益者及び知識経験を有する者で構成）」で審議して頂き、その評価結果を取りまとめています。

山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016
令和4年度 計画の体系及び評価結果

計画目標 3	施策 7	取組内容 17	達成状況	施策の成果
1 水道水の安全の確保【安全】	(1) 水質管理の強化	① 水質管理の強化	a	B
		② 直結給水方式への推進	a	
		③ 給水装置に対する安全性の確保	c	
2 確実な給水の確保【強靱】	(2) 水道施設の計画的更新と維持管理	① 効率的な水運用のための水道施設の整備	a	A
		② 配水施設の計画的更新	a	
		③ 管路施設の計画的更新	a	
		④ 管路の維持管理及び漏水防止対策	c	
	(3) 総合的な危機管理	① 災害対策計画と活動マニュアルの運用管理	a	A
		② 漏水事故及び災害時における復旧体制の強化及び関係者間の連携	a	
3 供給体制の持続性の確保【持続】	(4) お客様サービスの充実	① お客様サービスの向上	a	A
	(5) 経営の健全化及び効率化	① 将来需要の動向に即した水道料金制度の検討	a	A
		② 経営基盤の強化	a	
		③ 組織体制の強化	a	
		④ 統合・広域化の検討	a	
		⑤ 運営委員会の有効活用	a	
	(6) 活力ある人材・組織づくり	① 人材育成と技術の継承	a	A
(7) 環境に配慮した事業運営の推進	① 省エネルギーと環境保全対策	a	A	

達成状況

- a 目標を達成
b 概ね目標を達成
c 目標に届かなかった

施策の成果

- A 進展している
B 概ね進展している
C 一部の進展にとどまっている